

関連項目：教育活動プラン④

心を育てるための児童会活動、集会活動、異学年交流

目的

学校教育目標「笑顔・かがやくわたし」の実現に迫るために、児童会活動、集会活動、異学年交流などで、望ましいなかまづくりや実践力が育成できるよう内容を充実させる。

内容

● ドキドキチャレンジデー（ペア学年で）

年に3回、ハッピーウエズデーの長い昼休みを利用して、ペア学年で児童会主催のゲームにチャレンジするイベントである。ペア読書と同様1・6年、2・4年、3・5年のペア学年で実施する。ゲームは、ひっくりカンカンやまめまめキャッチング、空き缶タワー、ぞうきんレース、スタンプラリーなど、頭と体を使うゲームが中心である。また、どのゲームもペアで取り組み、協力しながら楽しく活動ができた。

● リコーダー交流会

年に1回、4年生がミニ先生になり、3年生にリコーダーを教える機会を設けている。4年生は3年生が上手に吹けるように手を取りながらやさしく教えることができ、ほほえましい姿が見られた。3年生は、教えてもらってからは、各クラスで休み時間ごとに習いたての曲を練習する音が聞こえていた。それまであまりリコーダーに興味がなかった子も、楽しそうにリコーダーを吹く姿が見られた。4年生は、低学年にやさしく教えるよい機会になり、3年生にとっては、リコーダー練習の意欲付けになる有意義な時間になった。



● ハッピーウエズデー

毎週水曜日は、給食後の清掃を簡略化し昼休みを長くとっている。10年ほど前、児童会を中心として「楽しい学校をつくりたい」という要望から始まった取り組みである。昼休みを長くとることで、クラスの友だちと遊ぶ時間が増え、また児童会が主催するドキドキチャレンジデーとして、ペア学年で活動する時間にもあてている。クラスでどんな遊びをするか話し合い、みんなで楽しく遊んでいる。



● ティータイム

子どもたちが学校生活の中で「ほっ」とでき、気持ちが和む楽しいひとときを設定し、精神的な安定やストレスの緩和等を図る意味で、月に2回ティータイムを行っている。2・3校時の休憩時間(20分のうち15分程度)を使い、校内にオルゴール曲などが流れる中、クラスでおやつを食べお茶を飲みながら、落ち着いた雰囲気の中で過ごす時間としている。ティータイムの過ごし方は各クラスの独自性を尊重し、本の読み聞かせをしたりグループでゲームをしたりしながら、楽しい時間を過ごしている。



成果

高学年になると自分への自信が大きく低下する児童が多いことが指摘されているが、上記のような活動を通して、集団の中での役割や責任を果たしたり、リーダーシップを発揮したりする活動を多様に設定することで、新たな人間関係を築いたり、自己肯定感に結び付く児童が増加している。